



今年は11月になっても暑い日もあり、さわやかな秋を感じる期間が短く、もう冬本番をむかえてしまうようです。急に冷え込み、空気が乾燥するこの時期は、咳やのどの痛みを訴えている児童が多くいます。これからの季節、かぜやインフルエンザだけでなく、感染性胃腸炎や、新型コロナウイルス、マイコプラズマなどの流行が懸念されます。手洗いや換気などの対策とともに、**「栄養バランスのとれた食事」「十分な睡眠」「適度な運動」「ストレスをためず良く笑う」**等で免疫力を少しでも高めておくことが感染症予防の基本となります。流行期を前に、お子さんと一緒に健康的な生活習慣についての再確認をお願いいたします。

全国的にマイコプラズマ感染症が流行しています！

11月末現在、栃木県内の学校でも一番流行している感染症となっています。マイコプラズマ感染症に罹患した場合、出席停止扱いになります。医師からマイコプラズマの診断を受け休養し、登校許可となった場合、**日光市ではインフルエンザや新型コロナと同様、保護者記入の「登園・登校届」の提出をお願いしています。**(R6.11月より様式変更) 日光市のHP(学校教育)または、本校HP(各種様式)からもダウンロードできます。
※保護者通知と登校届の用紙を各家庭に配布いたします。必要に応じてコピーし、今後ご利用ください。

マイコプラズマ感染症って??

日本学校保健会：感染症の解説より

咳を主症状とし学童以降の細菌性肺炎としてはもっとも多い。夏から秋にかけてが多く、家庭内感染や再感染も多くみられる。5歳以上で10～15歳頃に好発するが、成人も患する。

【病原体】 肺炎マイコプラズマ 【潜伏期間】 主に2～3週間(1～4週間)

【感染経路】 飛沫・接触感染 症状のある間がピーク 保菌は数週間～数か月持続

【症状・予後】 咳・発熱、頭痛等のかぜ症状がゆっくりと進行し、特に咳は徐々に激しくなる。しつこい咳が3～4週間持続する場合もある。中耳炎・鼓膜炎や発しんを伴うこともあり、重症例では呼吸困難になることもある。治療は適切な抗菌薬で行う。

【予防・ワクチン】 飛沫感染として一般的な予防法を励行する。ワクチンはない。

【登校基準】 症状が改善し、全身状態の良い者(発熱や激しい咳が治まっている)



寒い冬、必需品の暖房器具。やけどには十分気を付けて！

「やけどした！」覚えておいてほしいこと



水道の水などですぐに冷やす。20分以上はつけておくとよい。



服の上からやけどをしたときは、無理に脱がずに着たまま冷やす。



やけどした場所に水ぶくれができたなら、つぶさずに病院を受診。



温かい温度でも同じ場所に長時間あてると低温やけどの危険。